

(別紙1)

実績報告書

実施期間	(開始日) (完了日) 平成 29年 4月 1日 ~ 平成 30年 2月28日
実施場所	宇部市 草江、梶返、常盤台 各地区
実施内容	主目的：再生した古民家等を活用した気楽な国際交流の推進。 【延べ参加者数：800名】日程と参加者数は別紙 1) 環境整備 ①草江地区の冷房のない古民家に琉球朝顔等を緑のカーテンとして育成し、夏場でも活動が出来る様に整備した。 ②梶返地区の耕作放棄地(約600㎡)を作物栽培が出来るまでに新たに再生した。 2) 国際交流促進 ①古民家で留学生や市民との交流会を実施。文化紹介、食事会、書道指導、英会話等を行った。 ②宇部留学生交流会で活動紹介や日本文化の講義を行った ③フットサル等スポーツを通じた国際交流会を実施した。 ④山口大学、下関市立大学、宇部高専、宇部高校の国際交流担当者と視察及び意見交換会を実施した。
得られた成果・効果	1) 環境整備 ・冷房のない古民家に凌ぎやすさを提供できたことで、年間を通じた活動が可能となり、交流人口の拡大に繋がった。 ・再生耕作放棄地面積は1,000㎡に増加し、安定的な収穫ができる野菜栽培農地に再生された。 2) 国際交流の促進による交流人口の増大 ・整備された畑や古民家に留学生や市民が定期的に集うことで周辺の交流人口は増加、市民レベルでの国際交流促進にも寄与できた。 ・参加者は当初の5倍以上の800人に達し、マスコミでも取り上げられる等(2月5日宇部日報)、留学生・市民が気楽に参加できる地域活動に発展した。 3) NPO法人としての成長 本事業を通じて当法人の活動に関心を寄せる市民が増え、我々も地域貢献活動の貴重な体験ができ、NPO法人としての成長に繋がったことを感謝したい。 平成26年から4年間の成果を別紙にて纏めた。
課題・反省点	・最近は大学院生を中心に家族同伴の留学生が増えてきており、異国での生活は本人のみならず家族のストレスも大きいことが分かった。今後は留学生の家族も含めた交流を促進していきたい。
今後の活動計画・事業展望等	・本事業で得た経験とネットワークを活かして、活動領域を宇部市以外にも拡大し、更なる国際交流の促進、交流人口の増大に努めて行く。 ・来年度は「ゆめ花博」において国際交流イベントを10日程開催予定。 ・市民レベルの国際交流会は毎月コンスタントに開催し、活動を通じて、若手リーダー育成に取り組んで行く。

※事業実施状況が確認できる写真を添付してください。